ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.187

2022年6月期調査



<調査要項>

・調査時点
・調査対象期間
・調査対象期間
・ 2 0 2 2年
・ 4 - 6月実績
2 0 2 2年
・ 7 - 9月見通し
・ 調査対象企業
・ 当金庫取引先
4 5 0 社

有効回答数 447社 (有効回答率99.3%) ・業種別企業数 製造業 137社、 卸売業 68社

製造業 137社、卸売業 68社 小売業 92社、運輸・サービス業 57社 建設業 67社、不動産業 26社

・調査方法 営業店調査員による面接聞き取り調査

この調査では景況判断の基準として、DI (Diffusion Index. 拡散指数)による分析方法を採用しています。 各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系 列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい

◇> 姫路信用金庫

4-6月の概況

● 当金庫取引先の景況感は 5 四半期連続で改善

業種別で見ると、製造業の業況判断 DI は、前期 ▲ 2 から ▲ 8 ポ イントの ▲ 10、非製造業の業況 判断 DI は、前期 ▲ 23 から + 5 ポ イントの ▲ 18 となった。

●来期は小幅改善の見通し

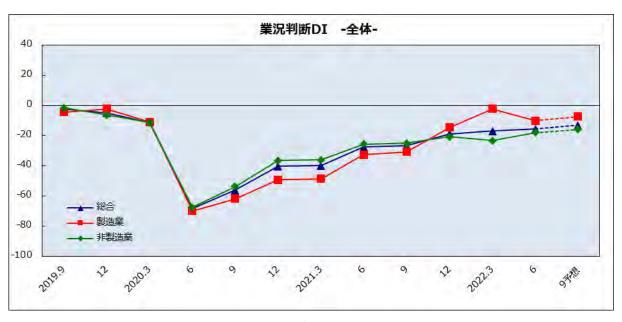
来期 (2022 年 7-9 月期) の全業種総合の予想業況判断 DI は、今期 ▲ 16 から+3 ポ イントの ▲ 13 と小幅改善となる見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断 DI は今期 \triangle 10 から+3 \sharp 1 パルの \triangle 7、非製造業は今期 \triangle 18 から+2 \sharp 1 パルの \triangle 16 となる見通しである。

■最近の業況判断 D I の推移

・業況判断 DI (総合)

調査時期 業種	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)	
	2021/4-6期	2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	
総合	(447社)	-28 (↗)	-27 (↗)	-19 (↗)	-17 (↗)	-16 (↗)	-13 (↗)
製造業	(137社)	-33 (↗)	-31 (↗)	-15 (↗)	-2 (↗)	-10 (↘)	-7 (↗)
非製造業	(310社)	-26 (↗)	-25 (↗)	-21 (↗)	-23 (↘)	-18 (↗)	-16 (↗)



・業況判断 DI(非製造業)

調査時期		4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
業種		2021/4-6期	2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期
卸売業	(68社)	-16 (↗)	-21 (↘)	-10 (↗)	-22 (↘)	-16 (↗)	-19 (↘)
小売業	(92社)	-46 (↗)	-47 (⅓)	-48 (↘)	-48 (→)	-40 (↗)	-35 (↗)
運輸・サービス業	美 (57社)	-30 (↗)	-23 (↗)	-20 (↗)	-25 (↘)	-32 (↘)	-26 (↗)
建設業	(67社)	-9 (↗)	-12 (↘)	-12 (→)	-1 (↗)	10 (↗)	9 (7)
不動産業	(26社)	-11 (᠘)	4 (↗)	23 (↗)	4 (💪)	12 (↗)	19 (↗)



■業況判断・売上・収益の各種 D I の推移



●2年ぶりの悪化

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の 21.2%で前期 (25.9%) から▲4.7 ポイント、「悪い」は 31.4%で前期 (28.1%) から+3.3 ポイント。業況判断 DI は前期 ▲2 から▲8 ポイントの ▲10 となり、2020 年 4-6 月期以来 2 年ぶりに悪化した。

来期は一般機械器具、食料品など6業種で改善、鉄鋼業、化学工業など3業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲10 から+3 ポイントの▲7 と小幅改善する見通しである。

●今期は21業種中、7業種で改善、9業種で悪化

皮革製品、出版・印刷など7業種で改善、一般機械器具、食料品など9業種で悪化した。 21業種中・・・業況改善7業種/業況横這5業種/業況悪化9業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)		
	100	2021/4-6期	2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期		
金属製品	(19社)	-17 (↗)	-47 (⅓)	-17 (↗)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)		
一般機械器具	(16社)	-44 (→)	-47 (⅓)	-7 (↗)	6 (↗)	-6 (⅓)	0 (↗)		
食料品	(14社)	-21 (↗)	-64 (⅓)	0 (↗)	7 (⊅)	-29 (↘)	-21 (↗)		
輸送用機械器具	(12社)	15 (↗)	8 (7)	-8 (7)	25 (↗)	0 (7)	17 (↗)		
電気機械器具	(8社)	-14 (↘)	-13 (↗)	-38 (⅓)	-13 (↗)	-38 (⅓)	-38 (→)		
皮革製品	(8社)	-75 (↗)	-50 (↗)	-38 (↗)	-13 (↗)	25 (↗)	25 (→)		
鉄鋼業	(8社)	-50 (↗)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	-13 (↘)	-25 (↘)		
プレス・メッキ	(7社)	-29 (↗)	-14 (↗)	14 (↗)	14 (→)	-14 (↘)	-14 (→)		
建築用金属製品	(7社)	-43 (↗)	-14 (↗)	0 (7)	0 (→)	-14 (↘)	-14 (→)		
出版・印刷	(6社)	-60 (↗)	-17 (↗)	17 (7)	-50 (↘)	-33 (↗)	-33 (→)		
窯業・土石	(5社)	-20 (→)	0 (↗)	0 (→)	40 (↗)	40 (→)	40 (→)		
繊維製品(靴下)	(5社)	-100 (↘)	-80 (↗)	-80 (→)	-75 (↗)	-60 (↗)	-60 (→)		
化学工業	(3社)	-100 (→)	-100 (→)	-67 (↗)	0 (↗)	0 (→)	-33 (万)		

調査員のコメント

- ・新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きがみられるも、飲食店からの受注は依然低調である。 (食料品)
- ・ロシア・ウクライナ情勢により、エネルギー価格の高騰を起点として鋼材価格が上昇。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大による中国のロックダウンの影響もあり、経営環境は厳しい。

(輸送用機械器具)

・原材料価格の上昇分を販売価格に転嫁できておらず、利益率が減少。仕入先の変更を検討している。 (プレス・メッキ)



●2四半期ぶりの改善

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の II.8%で前期 (8.8%) から+3.0 ポイント、「悪い」は 27.9%で前期 (30.9%) から▲3.0 ポイント。業況判断 DI は前期 ▲22 から+6 ポイントの▲16 となり、2 四半期ぶりに改善した。

来期は機械器具で改善、農畜産物・水産物、飲食料品で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期 ▲ 16 から ▲ 3 ポ 1/トの ▲ 19 と小幅悪化する見通しである。

●今期は9業種中、4業種で改善、2業種で悪化

農畜産物・水産物、飲食料品など4業種で改善、建築材料、化学製品で悪化した。 9業種中・・・業況改善4業種/業況横這3業種/業況悪化2業種

# 1F	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
業種	阿田内州	2021/4-6期	2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期
機械器具	(19社)	-16 (↘)	-63 (⅓)	-16 (↗)	-21 (↘)	-21 (→)	-11 (↗)
農畜産物・水産物	(10社)	-40 (↗)	-27 (↗)	0 (↗)	-60 (⅓)	-20 (↗)	-30 (⅓)
建築材料	(9社)	-13 (→)	0 (↗)	25 (↗)	0 (7)	-11 (↘)	-11 (→)
飲食料品	(9社)	-40 (↘)	-33 (↗)	-33 (→)	-22 (↗)	-11 (↗)	-22 (↘)
金属材料	(6社)	33 (↗)	33 (→)	0 (7)	-17 (↘)	0 (↗)	0 (→)
化学製品	(3社)	-33 (→)	-25 (↗)	-33 (४)	-33 (→)	-100 (↘)	-100 (→)
衣服身回品	(3社)	-33 (↗)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)
再生資源	(2社)	0 (7)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
家具建具じゅう器	(1社)	0 (→)	0 (→)	-100 (১)	-100 (→)	0 (↗)	0 (→)
その他	(6社)	17 (↗)	25 (↗)	0 (7)	17 (↗)	17 (→)	-17 (↘)

- ・主力商品である果物は、一般消費者にとって嗜好品であるため、全体的な物価上昇に伴い節約の対象となっており、売上が伸び悩んでいる。 (農畜産物・水産物)
- ・ロシア・ウクライナ情勢やウッドショック等の影響で、仕入価格の高騰と材料不足が深刻化している。 (建築材料)
- ·SDGs の推進や人材育成に注力しており、経営体制の整備に取り組んでいる。 (飲食料品)



小\ 売 92 社

●4四半期ぶりの改善

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 7.6%で前期(6.7%)から+0.9 ポイント、「悪い」 は 47.8%で前期 (54.4%) から▲6.6 ポイント。業況判断 DI は前期 ▲48 から+8 ポイントの▲40 となり、4四半期ぶりに改善した。

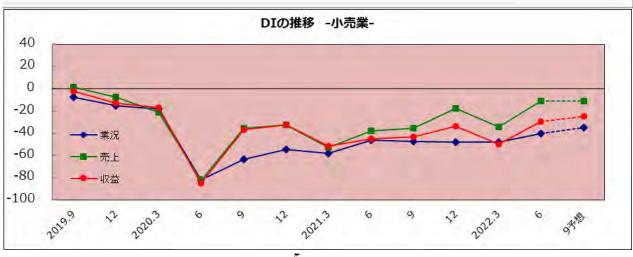
来期は飲食料品、スーパー・コンビニなど4業種で改善、衣服身回品、飲食店など8業種で 横這いと予想しており、予想業況判断 DI は今期 ▲40 から+5 ポイントの▲35 と改善する見通し である。

● 今期は 12 業種中、5 業種で改善、4 業種で悪化

飲食料品、衣服身回品など5業種で改善、自動車、家電機器など4業種で悪化した。 12業種中・・・業況改善5業種 / 業況横這3業種 / 業況悪化4業種

	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
業種		2021/4-6期	2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期
飲食料品	(24社)	-57 (↗)	-61 (↘)	-48 (↗)	-45 (↗)	-42 (↗)	-29 (↗)
衣服身回品	(15社)	-81 (↘)	-73 (↗)	-87 (↘)	-73 (↗)	-60 (↗)	-60 (→)
飲食店	(11社)	-80 (४)	-91 (↘)	-64 (↗)	-70 (↘)	-55 (↗)	-55 (→)
スーパー・コンビニ	〔 (9社)	-11 (↗)	0 (↗)	0 (→)	-22 (↘)	-22 (→)	-11 (↗)
自動車	(8社)	0 (↗)	-25 (↘)	-38 (ك)	-25 (↗)	-38 (⅓)	-38 (→)
ガソリン	(6社)	-33 (→)	-50 (↘)	-67 (↘)	-67 (→)	-17 (↗)	17 (7)
家電機器	(4社)	-25 (→)	75 (↗)	25 (↘)	-25 (↘)	-50 (⅓)	-50 (→)
書籍・文具	(3社)	33 (↗)	-33 (暑)	-33 (→)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)
医薬品・化粧品	(3社)	-67 (↗)	-67 (→)	-33 (↗)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)
娯楽用品	(2社)	0 (↗)	50 (↗)	50 (→)	-50 (↘)	-100 (↘)	-100 (→)
時計・眼鏡	(2社)	-50 (→)	-100 (↘)	-50 (↗)	-100 (১)	-50 (↗)	-50 (→)
木材建築材料	(1社)	0 (7)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-100 (↘)	0 (↗)
その他	(4社)	-50 (↗)	-50 (→)	-83 (7)	-60 (↗)	0 (↗)	-50 (↘)

- ・店頭の来店客数が減少傾向にあるため、ネット販売に注力している。今後は介護分野への事業 展開を検討中。 (衣服見回品)
- ・コロナにより時短営業を行っていたが、現在は通常通り営業しており固定客は戻りつつある。 (飲食店)
- ・大型連休に伴い人出が増加し、ガソリンの給油量が回復傾向にある。 (ガソリン)



運輸・サービス業 57 社

●2 四半期連続の悪化

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の 8.8%で前期 (10.5%) から \triangle 1.7 \sharp ι 1.7 \sharp 1.8 \sharp 2.5 \sharp 1.7 \sharp 1.7 \sharp 1.8 \sharp 2.5 \sharp 1.7 \sharp 1.8 \sharp 2.5 \sharp 1.7 \sharp 1.7 \sharp 1.8 \sharp 2.5 \sharp 1.7 \sharp 1.7 \sharp 1.8 \sharp 2.5 \sharp 1.7 \sharp 1.8 \sharp 2.5 \sharp 1.7 \sharp 1

来期は運輸業、自動車整備・駐車場など 4 業種で改善、クリーニング・理容・美容で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲32 から+6 ポイントの▲26 と改善する見通しである。

● 今期は7 業種中、2 業種で改善、3 業種で悪化

クリーニング・理容・美容、物品賃貸で改善、運輸業、自動車整備・駐車場など3業種で悪化した。

7業種中・・・業況改善2業種/業況横這2業種/業況悪化3業種

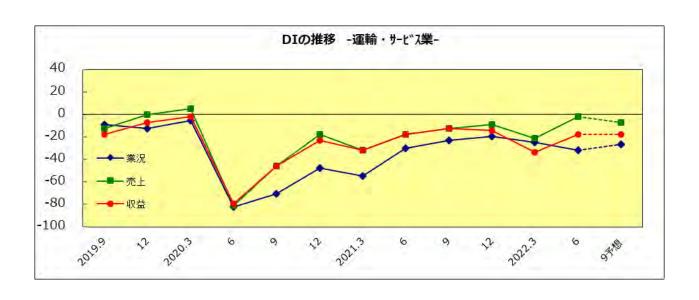
	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
業種		2021/4-6期	2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期
運輸業	(14社)	-36 (↗)	-43 (⅓)	-50 (↘)	-43 (↗)	-57 (↘)	-43 (↗)
自動車整備・駐車場	易 (9社)	-33 (↗)	-33 (→)	13 (↗)	-11 (↘)	-33 (⅓)	-11 (↗)
クリーニング・理容・美習	字 (7社)	-57 (↗)	-29 (↗)	-43 (↘)	-57 (↘)	-29 (↗)	-71 (↘)
情報サービス・調査・広告	5 (4社)	-33 (↗)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	-25 (↘)	0 (↗)
修理業	(3社)	-33 (↗)	0 (↗)	-67 (↘)	-67 (→)	-67 (→)	-67 (→)
物品賃貸	(2社)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	-50 (↘)	0 (↗)	50 (↗)
旅館宿泊所	(2社)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)
その他	(16社)	-12 (↗)	-6 (↗)	6 (⊅)	6 (→)	-6 (⅓)	-6 (→)

調査員のコメント

・ガソリン代が高騰しているため、販売価格への転嫁を進めている。

- (運輸業)
- ・半導体不足により新車の納期が遅延しているため、中古車需要が増加し、販売価格が上昇している。 (自動車整備・駐車場)
- ·SDGs の推進により紙媒体の広告が減少傾向にある。

(情報サービス・調査・広告)



建設業 67 社

●2四半期連続の改善

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の 22.4%で前期 (16.4%) から+6.0 \sharp かり、「悪い」は 11.9%で前期 (17.9%) から \blacktriangle 6.0 \sharp かり、業況判断 DI は前期 \blacktriangle 1 から+11 \sharp かりの+10 となり、2 四半期連続で改善した。

来期は総合工事、設備工事で横這い、職別工事で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は 今期+10 から▲1 ポイントの+9 と小幅悪化する見通しである。

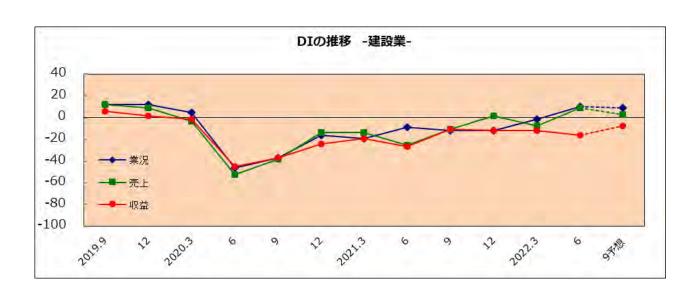
●今期は3業種中、全業種で改善

総合工事、職別工事など全業種で改善となった。

3業種中・・・業況改善3業種 / 業況横這 0業種 / 業況悪化 0業種

業種調査時期	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
	page 1970	2021/4-6期	2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期
総合工事	(31社)	-13 (↗)	-16 (↘)	-10 (↗)	-10 (→)	3 (↗)	3 (→)
職別工事	(21社)	5 (↗)	0 (7)	-14 (↘)	19 (↗)	29 (↗)	24 (↘)
設備工事	(15社)	-20 (↘)	-20 (→)	-13 (↗)	-13 (→)	0 (↗)	0 (→)

- ・鋼材価格の上昇や原材料の品薄等により施工高が減少している。
- (総合工事)
- ・クレーンを活かした異業種への進出を検討している。また、災害時の派遣登録をする等、自社の価値向上に取り組んでいる。 (職別工事)
- ・コロナ禍は設備投資が手控えられ売上が減少していたが、現在は回復傾向にある。(設備工事)



不動產業 26 社

●2四半期ぶりの改善

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の 23.1%で前期 (25.9%) から▲2.8 ポイント、「悪い」は | 1.5%で前期 (22.2%) から▲10.7 ポイント。業況判断 DI は前期+4 から+8 ポイントの+12となり、2 四半期ぶりに改善した。

来期は不動産代理・仲介で改善、建売・土地売買、貸事務所・土地賃貸など3業種で横這いと 予想しており、予想業況判断 DI も今期+12 から+7 ポ ひトの+19 と改善する見通しである。

●今期は4業種中、1業種で改善、2業種で悪化

不動産代理・仲介で改善、建売・土地売買、貸家・貸間で悪化した。

4 業種中・・・業況改善 | 業種 / 業況横這 | 業種 / 業況悪化 2 業種

調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
業種	2021/4-6期	2021/7-9期	2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期
建売・土地売買 (12社)	-8 (7)	18 (↗)	8 (7)	23 (↗)	17 (↘)	17 (→)
不動産代理・仲介 (9社)	-11 (↘)	-20 (↘)	63 (↗)	-33 (⅓)	11 (7)	33 (↗)
貸事務所・土地賃貸 (2社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
貸家・貸間 (1社)	0 (→)	100 (↗)	100 (→)	100 (→)	0 (7)	0 (→)
その他 (2社)	-50 (→)	0 (↗)	-50 (↘)	0 (⊅)	0 (→)	0 (→)

- ・住宅展示場の来客数が戻ってきている。モデルハウスを新築し見学会を定期的に開催する等、販売促進に努めている。 (建売・土地売買)
- ・前期はコロナの影響で売上減少するも、現状は回復傾向にあるため、賃上げを検討している。 (不動産代理・仲介)
- ・コロナ禍は商品売買を控えたため売上が減少したが、現状は回復傾向にある。今後は、ウィズコロナを意識して営業していく方針。 (不動産代理・仲介)

